

令和3年度活躍の若手アスリート!

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大による影響がある中でしたが、岩手県内の小学生・中学生・高校生の活躍が目立ちました。写真掲載とともに、全国優勝を達成しての感想や今後の目標などコメントが届きましたのであわせて紹介します。



陸上

とみ さわ りん
富澤 凜 選手 (盛岡市立津志田小学校6年)

◆ 日清食品カップ 第37回全国小学生陸上競技交流大会
6年男子100mA決勝 優勝

僕が5年生の時の全国大会は中止が決まり残念でした。しかし今年も全国大会があると知って、横浜の日産スタジアムで走る事ができ、うれしかったです。予選の結果は総合3位でした。A決勝で走るまでに、不安と、緊張と予選の疲れ、予想していた全国大会のスピードは、初めての経験でした。走り終わった結果全国1位、岩手県新記録だと知って自分でもびっくりしました。大会に出た経験から、あきらめそうな時ほど頑張ることを大切にしたいです。応援してくださった方々のためにも、ここで終わりではなくここからスタートしていきたいです。応援ありがとうございました。

男子6年100%で11秒99の県小学新をマークし頂点に立った富沢凜(サンビレRC)
=19日、横浜市・日産スタジアム(岩手日報2021年9月20日付)

ソフトテニス

◆ 令和3年度全国中学校体育大会
第52回全国中学校ソフトテニス大会
男子個人戦 優勝 (長根慎人・鈴木煌ペア)



すず き こうき
鈴木 煌 選手 (洋野町立中野中学校3年)

僕は、全国大会で優勝した事にうれしさと感謝の気持ちでいっぱいです。今までの苦勞してきた事が目標達成につながって本当にうれしかったです。色々な方々に支えてもらって優勝できたと思っているので、感謝の気持ちがあふれています。本当にありがとうございました。今後の目標は、自分の入りたい高校に進学し、インターハイなどでも優勝できるような生活をしていきたいです。

なが ね まな と
長根 慎人 選手 (洋野町立中野中学校3年)

コロナ禍の中での1年越しの中総体でした。全国の選手の情報が分からない中、1本1本の精度を上げる事、決勝まで保てるよう体力トレーニング、メンタルを意識し強化して臨みました。大会中はゲームの中で1ポイントを取られて焦るという事はなく、冷静に1ポイントずつ取ることに集中し戦えたことが勝因へつながったと思います。岩手の皆さんや応援して下さい下さった方々への感謝の気持ちを忘れずに、また皆さまに応援して頂けるよう頑張っていきたいです。

ソフトテニス男子個人で県勢初優勝を果たし、タッチを交わす中野の鈴木煌(左)・長根慎人組
=18日、栃木県那須塩原市・石川スポーツグラウンドくろいモテニスコート(岩手日報2021年8月19日付)



陸上女子走り高跳びで県勢初の優勝を挙げ、踏み切りのホースで賞状を掲げる高橋美月選手
 ※19日茨城県ひたちなか市と松山運動公園陸上競技場(選手日報2021年8月20日掲載)

陸上

たか はし み づき

高橋 美月 選手 (盛岡市立城西中学校3年)

- ◆ 令和3年度全国中学校体育大会
第48回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子走高跳 優勝
- ◆ JOCジュニアオリンピックカップ
第52回U16陸上競技大会 女子走高跳 優勝

私には「出場者の中で一番練習してきた。」という自信がありました。大舞台での緊張を自信に変え、誰よりも楽しんで競技できた事が全国優勝2冠に繋がったと思います。高校では更にレベルが上がるので、いち早く憧れの先輩方に追いつき、そして肩を並べて競えるよう練習に励んでいきたいと思っています。これからも私らしく頑張りますので今後とも応援よろしくお祈いします。



なぎなた

め が さ わ そ う ま

女ヶ澤 綜磨 選手 (一戸町立一戸中学校3年)

- ◆ JOCジュニアオリンピックカップ 第29回全国中学生なぎなた大会
試合競技個人男子の部 優勝

大会当日は本番直前まで緊張していましたが、「自分は絶対勝てる」と信じて全力で試合をすることができました。1回戦から準決勝まで自分の得意技である面の調子が良く、全て一本勝ちしていました。決勝でも面を中心とした試合をして一本勝ちで優勝することができました。コロナ禍の中でも、大会を開催して下さった関係者の皆様や応援してくださった方々にとっても感謝しています。これからも各大会でいい成績をとれるよう頑張ります。

パラ陸上

お の で ら も え

小野寺 萌恵 選手 (岩手県立盛岡となん支援学校3年)

- ◆ 2021ジャパンパラ陸上競技大会 女子T34/200m 優勝



私が、優勝することができた大会は、新型コロナが流行していた2021年3月の日本パラ陸上競技選手権でした。東京都での開催だったので、出場についてはかなり迷いましたが、会場が駒沢オリンピック公園陸上競技場だったことから、思い切って出場することにしました。駒沢の競技場は、私が陸上を始めたきっかけのひとつである「パラ駅伝 in Tokyo」が開催された思い出の場所でした。

3月の大会では、とても楽しく走ることができて、100mでは自己ベスト、400mと800mでも、先輩選手達に初めて勝つことができました。そして、この大会をきっかけに、私も世界の大会を目指したいと思うようになりました。

家族、学校、県の方々など、ご指導いただいている皆様に、とても感謝しています。

今後も、パラリンピックをめざして頑張りたいと思いますので、応援よろしくお祈いします。

相撲



く どう けい た
工藤 佳太 選手 (岩手県立平舘高等学校1年)

◆ 令和3年度全国高等学校総合体育大会相撲競技
兼第99回全国高等学校相撲選手権大会 個人体重別戦100kg級 優勝

今年のインターハイは、私にとって高校入学後初めての全国大会で、不安や緊張がありました。しかし「いつもの力を出すことができれば必ず勝てる」と信じ、試合に臨みました。1回戦から簡単な試合はなく物言いがつく試合もありましたが、何とか優勝することができました。今後の目標は、インターハイ同階級で3連覇すると共に、無差別級で3位以内に入賞することです。基礎を徹底し、自分の長所を磨き、目標を達成できるよう稽古に精進していきたいと思います。今後も応援よろしくお願いします。

陸上



写真提供:オールスポーツコミュニティ

た なか き ほ
田中 希歩 選手 (盛岡誠桜高等学校2年)

◆ JOCジュニアオリンピックカップ
第15回U18陸上競技大会 女子800m 優勝

800mの全国大会で初めて決勝に進みました。数日前に駅伝を走って、疲労は溜まっていましたが、この大会のために今まで努力してきたので気持ちを入れ直しました。ハイペースが予想されたので、私は落ち着いて3番手の位置に着きました。ラスト200mから仕掛けたのはプラン通りで、ゴールした時は競技をやってきた中で一番嬉しかったです。今後の目標は、岩手県高校記録を超えることや来年のインターハイで優勝することです。応援ありがとうございました。

銃剣道



せ がわ ただ よし
瀬川 忠義 選手 (盛岡中央高等学校2年)

◆ 第33回全国高校生銃剣道大会 個人戦2年生の部 優勝

稽古で身につけた精神力や、相手を制する素早い突き技を全力で発揮する事を目標とし、試合に臨みました。前回の全国大会では、準決勝でライバルである他県の選手に僅差で敗退したので今度こそ返し技で一本を取るという強い信念を持ち続けました。初一本を許す事もありましたが、気合いで二本を返す等稽古で習得した平常心を持って突き進み、ついに、今回の大会で全国優勝する事が出来ました。今後も稽古に精進し、岩手の力となっていきたいと思います。応援ありがとうございました。